

平成29年3月定例会は2月13日から3月10日まで26日にわたって開かれ、初日には29年度の町長施政方針が述べられました。  
町長提案の議案40件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2～4頁)

29年度予算8件は、予算特別委員会を設置して3日間にわたって集中的に審議し、全て原案のとおり認定しました。(5～7頁)  
一般質問では11人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(8～18頁)

# 地公園新設工事 賛成多数で可決



防災緑地公園建設予定地

## 田の浜地区津波防災緑地公園新設工事の請負契約締結の議案は、28年3月定例会において、議員の反対多数により否決となりました。その後、町では計画変更をし、このたび議員の賛成多数(賛成11、反対1)で可決されました。

■事業の概要  
田の浜地区の既存居住区域を東日本大震災クラス津波被害から守るための緩衝地帯として防災緑地を整備する。

▽工期  
29年3月13日  
～30年4月13日

▽契約請負額  
2億6136万円

▽受注者  
奥井建設株式会社

【質疑応答】  
問 1回目の提案から1年経ったが、それほど内容が変わっていないと

思う。否決されたことを重く受け止めて改善しようとした部分は、川守田建設課長 住民説明会の意見を参考としながら、町道わかき線に接続する田の浜新開地1号線の一部拡幅、寺家口線に接続する田の浜・寺家口線の一部拡幅等を計画した。真ん中の道路(前須賀・タブの木荘線)を生かす形も検討したが、相当な額の事業費になることから、わかき線と寺家口線を活用した計画とした。

## 討論

### 反対 木村洋子議員

緑地公園の計画自体に反対するものではないが、真ん中を通る階段については賛成できない。道路にすべきである。避難路として不十分。住民、漁民の命は守れない。生活道としても不便である。被災者の願いが届いていないような計画なので反対。

### 賛成 関 清貴議員

なぜ田の浜地区だけが取り残されるのか。住民説明会等においても町は十分な説明をし理解を得て進めようとしている。この工事が実施されなければ田の浜地区の住民は復興から取り残されることになる。早期の復興完遂を願い賛成。